

第4回郡市交流中学生テニス大会観戦記

晴れ渡る青空、まっすぐ立ち上る煙突からの煙、桜の季節を思わせる気温、これ以上の天候を望めない絶好のテニス日和となった2月26（日）第4回郡市交流中学生テニス大会が蘇我ヒルスコートで開催された。

今回は単独チーム8、混成チーム4の12チームの参加となった。

この大会は3チームずつ4ブロックに分け、各ブロックの1位から3位を取得ゲーム数で決定し、1位トーナメント、2位、3位トーナメントを4チームで争い順位を決定する方式で行っている。

選手の子供達の表情はそんなに緊張感もなく晴れ晴れしい、応援の親御さん達も子供の活躍ぶりを一目観ようと大勢の方々が観戦されている。

試合の進行を担う審判団は第4回大会ともなると手慣れたもの、コート割振り、チーム名札、ベンチ、シングルススティック、スコアボードと準備万端。

監督会議、開会式が経て、いよいよ試合開始である。

昨年優勝の野田・流山ブロックには浦安、市川。密かに優勝を狙う千葉ブロックには船橋、習志野。第2回大会優勝松戸・鎌ヶ谷ブロックには柏、印旛。昨年タイブレークで優勝を逃した八千代ブロックには我孫子、市原・木更津・柏の混成チーム。

どのブロックも団体戦らしく整然ときびきびと試合が進行している。思えば、第1回大会で6-0の試合が多かったのに、昨年あたりからあきらめず、何とかくらいついて1ゲームでも取ろうという試合が目立ってきている。

リーグ戦の結果、1位トーナメントには野田・流山、千葉、印旛、八千代の4チーム。2位トーナメントには市川、船橋、松戸・鎌ヶ谷、市原・木更津・柏。3位チームには浦安、習志野、柏、我孫子・旭の戦いとなった。

それにしても、子供達は素晴らしいドラマを提供してくれるものだ。

1位トーナメントの決勝戦、千葉対八千代の戦いは3勝3敗、しかも取得ゲーム数も26対26の同率となり、昨年同様、ミックスダブルスによるスーパータイブレーク方式での決着となった。

チームの選手はもちろん、試合が終了した他の郡市の選手、父兄がNO.3コートに集中、こんな雰囲気ですべての試合をした事のない双方の選手が入場し試合開始となった。

絶妙なポーチでポイントを先行した八千代、ポイント焦ってミスを繰り返した千葉、結果は10-2で八千代チームが勝利、2回目の優勝を成し遂げた。

素晴らしい試合を披露してくれた選手達お疲れ様でした。

閉会式で「今日1日楽しかったかい？」ときいた時「楽しかったです！」と手を挙げてくれてありがとう！

来年もヒルスで会いましょう。

2017年2月26日 郡市委員会 原 良彦